

問1 植物の葉に日光が当たるとつくられる、植物が成長するために必要な養分の名前は何ですか。

問2 根から取り入れられてくきまで運ばれた水は、このあと植物のどの部分へと流れていきますか。

問3 葉をろ紙にはさんでたたき、葉の形や液をろ紙にうつしとってからヨウ素液につけて、でんぷんがあるかを調べる方法を何といいますか。

問4 植物の葉の表面にあり、体の中の水分を水蒸気として外に出す役割をもつ小さな穴を何といいますか。

問5 植物の体の中にある「水の通り道」は、植物のどの部分にありますか。

問6 植物のからだで蒸散が起こると、からだの中にある水はどのようになりますか。

問7 植物の葉につくられる「でんぷん」は、植物にとってどのような役割がありますか。

問8 植物が、生きるために必要なほとんどの水を取り入れる部分はどこですか。

問9 葉のうら側にたくさんあり、水蒸気が出ていくための小さなあなのことを何といいますか。

問10 植物の葉に日光が当たるとつくられる、植物の成長に必要な栄養分は何ですか。

問11 葉のでんぷんを調べる実験の最初に、お湯で葉を煮るの^には何のためですか。

問12 植物のからだの中にある水が、水蒸気になって外に出ていく現象を何といいますか。

問13 ヨウ素液をでんぷんにつけたとき、液の色はどのように変化しますか。

問14 葉のでんぷんを調べる実験で、葉をあたためたエタノールに入れるのはなぜですか。

問15 植物の根、くき、葉にあり、根からとり入れられた水が全身に運ばれるための管のことを何といいますか。

問16 たたきぞめを行うとき、葉の液をろ紙にうつしとった後、でんぷんがあるかを調べるために使う液は何ですか。